

# 平和の鐘

「キリスト教徒になって、何が幸せなんですか？」と聞かれたら、わたしはどう答えるかな、ということを考えてみました。人によって違うでしょう。キリスト教徒になった幸せはいくつもあるけれど、わたしにとっては、まずは次のことです。

「神さまが、このわたしを愛している!! わたしはこの世に存在している。神さまから歓迎されているんだから！」と心から信じられるようになったことです。

神さまの愛は、無条件で、絶対的です。

「無条件」というのは、「条件付き」の反対です。わたしがどうであろうと愛される。何をするか、役に立つかどうかも関係なし!

「絶対的」というのは、「相対的」の反対です。「相対」というのは「学年で何人中何位」といった、他人との比較です。人間は比較しがちですが、神様からは絶対的に、「他の人と比べられることなしに、わたしがわたしであるそのまま愛されている」ということです。

## キリストを信じる幸せ

シスター木村恭子



そのように信じるようになってから、わたしは他の人からの評価が以前ほど気にならなくなりました。神の愛という揺るぎのない大きな岩の上に立っているような安定感、安心感です。

「神がみんなを愛しているということは頭では一応信じられるけど、このわたしも？」と思っている皆さん、誰一人もれなく神さまから愛されています。

復活したイエスは、ご自分のことを見捨てて逃げた弟子たちをゆるし、愛し、使命を委ねました。

「わたしは世の終わりまで、いつもあなたとともにいる。」(マタイによる福音書 28章 20節)

イエスは今日もわたしたちと共にいて、神と隣人(自分も含む)を愛して生きようへと導き、支えてくださっています。

イエスについていく幸せ、喜び、希望を、みんなで分かち合えるといいですね。

主のご復活おめでとうございませう!

# 宣教司牧評議会からの報告

十主の平和

教会の桜も満開になり多くの方が桜を見に来られています。

2025年は『聖年』です。カトリック教会において、通常25年に1度開催される特別な年です。神からの慈しみと和解の恵みを祈る1年で、教皇は聖年にあたって信者に特別な免償を与えます。バチカンのサンピエトロ大聖堂で『聖なる扉』が開かれて開幕します。

『聖年』のテーマは『希望の巡礼者』です。「私たちの希望」である主イエス・キリストを述べ伝えるために、「あたたかさのある教会」をめざし、免償の恵みをいただくために勧められる3つの手段を通して「恵みの年」を有意義に過ごしていきましょう。

- ① 聖なる巡礼を行う(広島司教区の巡礼指定聖堂は(幟町、岡山、米子、山口、津和野教会)です。)
- ② 聖なる訪問を行う
- ③ 慈善や償いのわざを行うこと

【免償の恵み】とは?【聖なる巡礼】とは?は【2025 聖年希望の巡礼者パンフレット】をご覧ください。

1. 宣教の使命『ともに歩む教会』を築いていくため  
2024年4月から広島教区の宣教司牧目標【ともに歩むあたたかさのある教会をめざそう】  
(10年間)がスタートしています!!

2024~2026年度

「あたたかさの源泉に立ち帰る」(典礼活動)

2027~2029年度

「あたたかさを育む共同体をつくる」(司牧活動)

2030~2032年度

「あたたかさを広げる教会を築く」(宣教活動)

この宣教司牧目標を幟町教会でどのように活かしていくことができるのか、『ともに歩む教会』になるために私たちはなにができるのか? 個人・家族・友人・各係・各部・宣教司牧評議会・幹事会で『霊における会話』を大切に、歩んでいこうと思います。

皆さん分ち合いの場を作り、体験しましょう!!

2. 高齢者とそのご家族のみなさま
  - ・教会しおりを聖堂入口に置いています。
  - ・何かご相談がありましたら事務所にご連絡ください。(082-221-0621)
3. 司教様の公式訪問は6/8(日)です。堅信式があります。

司教さまへの現勢報告会は6/7(土)、信徒大会は6/29(日)の予定です。

4. 4月27日(日)初聖体式があります。

Sr 木村が勉強会をしてくださいました。

皆さま、子供たちのためにお祈りください。

5. 教会内の活動参加のお誘い

私たちの教会を支えていくため教会の中でのいろんな活動があります。ご自分の楽しくできるところでご奉仕ください。気軽にお声かけください!!

祭服係、お花係、結婚式係、レクイエム(葬儀)、聖歌隊、聖堂案内、広報、受付係、社会部、施設管理部等

6. 駐車許可証発行について(駐車共済会)

今年度の駐車許可証発行を行います。維持費納入の確認し手続きをお願いいたします。

教会敷地内に駐車される際は、必ず『駐車許可書』を運転席フロントに掲示くださいますようお願いいたします。電話番号を必ず記入してください。緊急の際に連絡することがあります。

7. 地区ブロック会からのお知らせ

マリアホールの『レターケース』は信徒の方への連絡手段として設置されています。

有効利用の為、満杯になった箇所の整理をいたしました。各自でレターケースを確認していただき持ち帰りをお願いいたします。『レターケース』不要な方は、事務所にご連絡ください。

8. 今後の主なスケジュール

4/11(金) ルクセンブルク合唱団 10:00 ミサ参加

4/12(土) 枝の準備 10:00~ご協力お願いします

4/13(日) 受難の主日(枝の主日)

4/16(水) 聖香油ミサ 14:00~

4/17(木) 聖木曜日(主の晩さん)19:00~

4/18(金) 聖金曜日(主の受難)19:00~

4/19(土) 聖土曜日(復活の聖なる徹夜祭)19:00~

4/20(日) 復活の主日、ミサ後お祝い会、荻・伊藤 神父送別会

4/27(日) 初聖体式・初聖体お祝い会、マリア会総会・定例会(多目的ホール)

5/3(水) 乙女峠祭り(今年はバスを出しますご利用ください)

5/4~5 ベトナム青年大会(ND 清心高校)  
5/10(土) 子供ミサ 10:00~(予定)  
5/25(日) 第479回市民のためのパイプオルガン  
チャリティー演奏会

## 「霊における会話」体験しませんか

YM

1月末の土曜と日曜の午後、信仰継承をテーマに11人と7人のグループでシスター木村のフランクかつ包容力ある導きで行われた。シノドス会議から推奨されている話し合いの手法「霊における会話」。これ、分かち合いはどうぞも苦手という人も大丈夫！ テーマに沿った思いを3分間で話せるよう、自分でゆっくり準備して臨めばよし。

第1段階【私】一人3分ずつそれを話す。一人一人の話の後には沈黙・祈り、聖霊の働きを願う。第2【あなた】聴いた事が自分にどう響いたかを順番に話す。相手の批判や評価は無し。第3【私たち】どんな合意点・相違点・課題が出てきたか、みんなで整理してみる。無理やり何か一つの結論を出そうとせず、よく聴いて聖霊に導きを願いながら話す。

先日の参加者の声。緊張したけど、自分を信じて参加していろんな話が聞けて良かった。教会でバタバタ働かただけでなく、神さまを中心に置いて分かち合うのは大切。自教会について学べた、これから工夫したい。信仰の話は女性の方が得意と思っていたが、男性でも心を明かして話せる。「共に歩む」ということが中心にあり、これで終わりではなく繋がっていく。…皆さんとても喜んでおられた。あたたかい一体感が生まれた。

いつも多忙な私たちですが、大切な自分に相手に聖霊に聴くために時間を使ってみませんか？ 次回のチャンス、お見逃し無く！

## 聖堂長椅子の補修 施設管理部

聖堂長椅子の補修をしました。

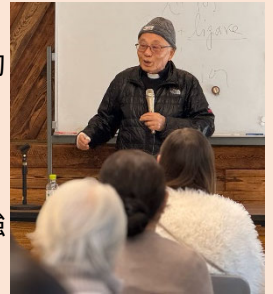
椅子全体が変形しており、調整をしながらテープを剥がし下地補修を行うのに有志で平日にも作業を行いました。今回は目立つ10数脚だけの補修をしました。参加いただいた皆様、ご苦労様でした。



6/8(日) 堅信式・司教さま公式訪問  
6/29(日) 信徒大会

## 四旬節黙想会

四旬節の黙想会が、林神父様(イエズス会)をお迎えし多目的ホールで行われました。第1部、第2部の2部構成で、終了後は神父様を囲んで茶話会が開かれました。神父様の力強いご指導に、希望と元気をいただきました。



## 英語ミサ(フィリピングループ)の黙想会

3月30日英語ミサ(フィリピングループ)の黙想会をバート神父さまにいただきました。テーマは『子供への信仰継承』でした。



## ベトナム旧正月

1月26日ベトナム青年が集まり旧正月を祝いました。ミサ後、記念撮影、お祝会ではベトナム料理、歌、踊りゲームで旧正月を楽しみました。



## ミサと御聖体に繋がる四旬節について勉強会

全神父様を講師でお迎えし「ミサと御聖体に繋がる四旬節について」の勉強会が多目的ホールでおこなわれました。

約60名の信徒が参加し会場はいっぱいとなりました。神父様の熱心な講義に皆さん、真剣に拝聴していました。



## 聖年のロゴ の意味



このロゴマークは、地球の四方から集まってきた全人類を、四人の図案化された人物によって表現しています。彼らは抱き合っていて、すべての民を結びつける連帯と友愛を示しています。

先頭の人物は十字架をつかんでいます。それは、抱いている信仰のしるしであるだけでなく、捨て去ることのない希望のしるしでもあります。なぜなら、希望はいつでも、そして深く困窮しているときにはとくに、求められるものだからです。

人物の下に押し寄せる波は、人生の旅がいつも穏やかな歩みであるとは限らないことを示しています。個人的な出来事や世界に起きていることの多くは、より強く希望を求めさせるものです。ですから、長く伸びて、錨の形に変わって波に下ろされている、十字架の下部が強調されているのです。ご承知のとおり、錨は希望の比喩としてよく用いられます。事実、船乗りの符牒では、嵐の際に船を安定させるため、緊急発動するポートによって投錨される予備の錨のことを「希望の錨」といいます。

このロゴが表すものとして見逃してはならないのは、巡礼の旅は個人的なものではなく共同体的なもので、よりいっそう十字架へと向かっていくダイナミズムを備えたものだということです。この十字架は、静的ではなく動的なものです。人類を捨て置かず、人類に向かって身を伸ばして、存在の確かさと全き希望とを与えてくださるのです。

ロゴの下部には、2025年の聖年のテーマ「希望の巡礼者」が、緑の文字で鮮やかに記されています。



**編集後記** 世界での戦争が続いている。皆おなじ『神』を信仰しているのにどうしてこんなに敵対し合うのだろうか？ 侵略する ロシア、イスラエルされる側のウクライナ、パレスチナ…胸が痛い。(の)

**復活祭**（イースター、復活の主日）は、**キリストの復活を記念するキリスト教の最も重要な祭日**です。

復活祭前の準備期間を四旬節と呼びます。古くから、復活祭に洗礼を受ける志願者の直前の準備期間と考えられてきました。また、すでに洗礼を受けた信者も、この期間をとおして節制と回心につとめ、自分の生活をふり返ります。

四旬節は「40日の期間」という意味です。40という数は、イエスが荒野で40日間断食をしたことに由来していて、それにならって40日の断食という習慣が生まれました。けれども実際には、復活祭の46日前の水曜日(灰の水曜日)から四旬節が始まります。この日は、人生の死について考え、痛悔、回心が最も必要なことであると思ひ起します。額に灰を受けるのは、人間は神によって創られた塵にすぎないことを自覚させ、謙虚に生きることを教えるためです。

断食については、現在では完全に食事を断つというよりも、十分な食事をひかえることと考えられていて、以下のように「大齋・小齋」があります。大齋と小齋を守る日は灰の水曜日と聖金曜日(復活祭直前の金曜日)、小齋を守る日は祭日を除く毎金曜日です。

**大齋** 1日に1回だけの十分な食事とそのほかに朝ともう1回わずかな食事をとることができ、満18歳以上満60歳未満の信者が守ります。

**小齋** 肉類を食べないことですが、各自の判断で償いの他の形式、とくに愛徳のわざ、信心業、節制のわざの実行をもって代えることができ、満14歳以上の信者が守ります。(大齋も小齋も、病気や妊娠などの理由がある人は免除されます)

### カトリック幟町教会

〒730-0016 広島市中区幟町4番42号

電話 082-221-0621

ファクス 082-221-8486

ホームページ <http://noboricho.catholic.hiroshima.jp>



### ミサの時間

日曜日 7:30、9:30、14:30～(英語)

第1日曜日 15:00(ポルトガル語)

第4日曜日 11:30(ベトナム語)

月の最後の日曜日 17:00(スペイン語)

平日 7:00 金曜日 7:00、10:00

土曜日 7:00、18:00(主日)

**主任司祭** 瀧井英昭神父 **助任司祭** 星野倫淳神父 シスター 木村恭子(援助修道会)